

視察研修報告

震災復興と災害対策

宮城県亶理町^{わたり}
平成24年10月9日・10日

総務建設委員会



庁舎は被災後解体された。
仮設庁舎の前で（亶理町職員と共に）

仙台空港に到着後、周辺の被災地の現状を視察しながら、亶理町役場へ向かった。宮城県南東部、阿武隈川と太平洋に面した農業を中心とした産業構造の町。人口3万3千人。町の中央に常磐自動車道が走り、津波被害で生と死を分けた道と言われている。

当委員会からの調査事項に詳細にお答え頂き、震災直後から現在までの進捗状況、災害対策と震災復興について学ぶことができた。

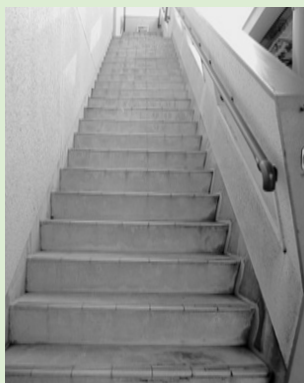


被災建物 現在も随所に残されている

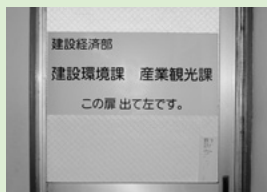
亶理町では、平成23年末に策定された復興計画のもと、復興財源とマンパワー（派遣職員）の確保、企業誘致、雇用など今後の課題に向けて着実に取り組まれている。

復興途中での視察の受入に感謝し、「新生亶理町」の早期復興と発展を願う。
（竹内 一美 議員）

傍聴の手続きの流れをご紹介します



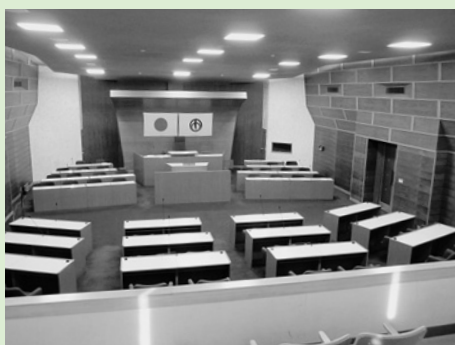
②左手の階段を上ります。



この看板の扉を出ます。



①総務課で受け付けをします。



④傍聴席からの眺めです。



③扉を開けてお入りください。